

令和5年度 2月 定例教育委員会会議録

令和6年2月20日(火)

山梨市教育委員会

## 令和5年度2月 定例教育委員会 議事録

令和6年2月20日(火)午後1時30分から、山梨市役所401会議室に召集された。

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 前回議事録の承認
- 4 協議事項
  - (1) 不登校児童生徒の現状について
  - (2) その他
- 5 承認事項
- 6 連絡事項
- 7 閉会

### ○出席者

教育長	嶋崎 修
教育長職務代理者	矢野 真由美
教育委員	窪田 新治
教育委員	天野 有紀
教育委員	原 喜雄
教育委員	鈴木 徹

### ○事務局職員出席者

学校教育課 課長	磯村 賢一
学校教育担当 指導監	小串 吾郎
学校教育担当 指導主事	志村 貴美子
学校総務担当 リーダー	大島 芽久美
学校給食センター担当 リーダー	久保川 貴教
学校総務担当(議事録作成者)	小田切 咲紀
生涯学習課 課長	角田 弘樹
生涯学習担当 リーダー	日原 勝巳

#### 4 協議事項の内容

教育長

議事に入る。(1) 不登校児童生徒の現状について、事務局から説明をお願いする。

学校教育課 志村指導主事

資料1に基づき説明

教育長

今の不登校児童生徒の現状について、なにか全体的な意見等があるか。

窪田委員

説明で、10月まで不登校児童生徒数の減少がみられたのに11月から増加傾向にあると言っていたが、その10月までと11月以降で何か取り組みが変わったりとか、何か原因となるようなものは究明できているか？

志村指導主事

運動会等メインとなる行事が10月までに終了し、目標に向かって頑張っていたものが終わり、11月になって疲れてしまったという場合、集団が苦手な子はその傾向にある。また、不登校傾向にある児童生徒は学習が苦手な子が多いので、学校行事が終了し授業の学習時間が増えてくると辛い状況になってしまう。気候が寒くなってくると朝が起きづらくなり、体調を崩した延長でそのまま不登校になりやすいとも言われている。そのあたりの分析も今後もっとつめていきたい。

窪田委員

不登校児童生徒の中で、集団生活が苦手だからという理由による子の数を教育委員会の方でも握っておくといいいのではないか。そうすれば集団生活に対するストレスを軽減する対策をとれるかもしれない。

教育長

教育委員会としても、個々でいつから不登校になって、いつから改善傾向にある等データとして持っていた方がいい。

#### 原委員

以前に詳細な資料が提示されたが、今回もそれに追加される形でデータが提示されると思っていた。資料が全体のものであるので、分析前の具体的なデータがないと教育委員としても分析もできない。関係機関との連携についても、詳細な情報が無いとその子の状態が把握できない。そういう詳細な情報は教育委員が求めてはいけないのか。

#### 教育委員

全体を見てよりも個々の情報をみて意見をもらうようにした方がいいのではないか。

#### 学校教育課長

また詳細なデータを提示してご意見を伺いたい。

#### 原委員

学校を責めるわけではない。教育委員会が支援するため、また、今後の取り組みに反映させるためにそういう情報を提示してもらいたい。

#### 教育長

一人一人に目を向けるという意味でも取り組んでいきたい。  
ほかに意見あるか？

#### 鈴木委員

例年ゴールデンウィーク明けあたりに不登校児童生徒が増加する傾向にあると言っていたが、その理由がわかれば教えてもらいたい。

#### 志村指導主事

新学期がスタートして緊張状態にあるところで、まとまった休みに入ってしまうことで休み明けに学校に足が向かない子がでてきてしまう。

#### 鈴木委員

例年そういうデータが出ていると思うが、それに対し学校で何か対応等しているか？  
取り組みがあれば教えてもらいたい。

## 小串指導監

昨年度のデータを分析すると5,6月に入って不登校児童生徒数が急激な伸びをしていたため、今年度は先手を打って、不安要素がある子に4月の時点で積極的に教員が声がけをするようにしたところ、今年度は5,6月の不登校児童生徒数の伸びがなかった。10,11月の切り替えをどうしていくかが来年度の課題である。

## 教育長

過去と数字を比較した場合、コロナ等状況で比較が難しいこともあるので、同じ年度で県の数字と山梨市の数字を比較するといったことも必要かと思う。

## 天野委員

不登校の原因について、学校が思っている原因と家庭で思っている原因にずれがある場合がある。そこをどの程度すり合わせてできているのか。検査等が活用されているのか。また、検査結果がどのように生かされているのか。そういうことがわかってくると、学校をより休まずに少しでも来れる状態を続けさせてあげられる。一度足が止まると難しくなってしまうので、手前のところで救ってあげられる対策ができるといいと思う。また、効果があった学校の対策が学校全体の取り組みなのか、個々の先生による取り組みなのかもつかんでいるといいと思う。改善傾向の事例になっている子についても、もう少し詳細なデータをいただくと教育委員として何ができるのか等考えられる。

## 矢野委員

子どもにとって目標を達成できるかどうかということが重要なんだなと思った。学園祭が終わったら何だか気がぬけてしまうというのも理解ができる。その状態になる前に次はこれがある。あれがある。と、教員が子どもの気持ちを高めていってくれていることもわかる。あとは、少しでも不登校児童の数が減るよう頑張ってもらいたい。

## 天野委員

4月18日に不登校の対策会議が開催されて、そこで取り組まれたことがいい方向にしているとすると、3月末に不安要素がある子たちの情報を共有して新年度スタート時から対策できるとより効果がでるのではないか。

## 教育長

不登校児童生徒の現状の協議についてはこれでよろしいか。

教育委員

よろしい。

教育長

次に(2)その他、何かあるか。

原委員

学校だけではなく、教育委員会も関わっている深刻ないじめ案件はあるか。

重大事態案件はあるか。

教育長

事務局いかがか。

志村指導主事

いじめ重大事態としては1件あった。

友達に悪口を言われたことがきっかけで30日以上不登校となってしまった。学校が誰にどういうことを言われたか等調査し、保護者にも説明した。今は学校端末を通じて教員や友達ともつながっていて連絡がとれる状況である。

教育長

その子が休みだしてから、いじめ等の対人関係が欠席理由ではないということで理解していた。欠席が長期になってきた時点で、学校で改めて聞き取りをしたら小さいいざこざが発端となり欠席につながったことがわかった。欠席日数が30日を超えたので重大事態としてあげようとなったが今は改善傾向にあるので見守っている。

いじめと認定される数字は80件あげられたが、本当に解決していないのかプロの目でみてまだ解決されていないと認識されるものをあげてもらったら8件となった。この学年末まではこの8件にシフトし解決に全力で取り組んでいくということを解決した。

他にあるか。

事務局

なし。

教育長

以上で議事を終了する。

## 5 承認事項

(1) 不登校児童生徒の「指導要録上の出席扱い」に関するガイドラインについて

志村指導主事 説明

・承認